

対応状況報告書

大 学 名：山 梨 大 学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和6年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○医工農学総合教育部（修士課程）看護学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	改善のための取組として、令和4年度より本学附属病院の看護師（助産師含む）を対象とした「キャリアアップ制度（看護業務のスキルアップのため修学費用を免除）」の運用を見直し、同専攻と本学附属病院が連携し、研究意識や進学意欲が高い看護師に対して制度利用の働きかけを実施している。 また、ストレートマスター（本学学部卒の院生）を増やすため、学部在学学生に対し、新学期ガイダンスや面談等を通して進学メリットの周知等を積極的に実施している。 さらに、同専攻を担当する准教授以上の教員が、大学院オープンキャンパスや所属学会等において、入学者確保に向けた募集活動を積極的に実施している。 上記取組を強化しているものの、現時点では直近5年間の入学定員に対する実入学者数の比率平均は0.53倍にとどまっていることから、入学定員の適正化に向け、R7年度から入学定員を減員（14名→7名）することを決定した。 以上により、現時点では本基準について改善された状況にあると判断できないが、引き続き改善に向けた取組を進めていく。

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○医工農学総合教育部（博士課程（一貫））医学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に上回っている。
対応状況	・医工農学総合教育部（博士課程（一貫））医学専攻の入学定員に対する実入学者数の比率平均は、直近5年平均1.17倍（令和2～6年度）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に対して、医学専攻委員会において入試実績を検証し、入試方法について令和5年度から二次募集を取りやめることとした。同委員会において、可否判定基準の見直しも進めており、引き続き適切な入学定員管理に努めていく。 【根拠資料・データ】 ・認証評価共通基礎データ